

2016年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日 時：2017年3月21日(火) 18:00～19:03

場 所：聖路加国際大学 1階 大会議室

議 長：萱間 真美(委員長)

出席委員：萱間真美、鶴若麻理、菱沼典子、片岡弥恵子、小野若菜子、小林京子、松井 陽、小松康宏、
中村めぐみ、墨岡 亮、鐘ヶ江真知恵、神里彩子

欠席委員：宮坂勝之、児玉安司

(出席者 12人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査) 司会:委員長 萱間真美

① 猪飼 やす子(老年看護学 博士後期課程1年)

「在宅療養中の特発性肺線維症患者の実存的苦痛に関する質的研究」

研究責任者(猪飼 やす子氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 保留

2. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
16-A088	看護実践における革新的看護技術の普及要素に関する検討	看護技術学	准教授	大久保暢子
16-A090	糖尿病患者のフットケアにおけるセルフマネジメントを継続的に支援する外来及び訪問看護師の困難と学習ニーズ	成人看護学	博士後期課程1年	曾根 晶子
16-A091	「高齢者におけるヘルスリテラシーの習得プロセスおよび情報源・サポート資源との関連について」 The process of acquiring health literacy, and correlation between health literacy and health support sources among elderly people	看護情報学	修士課程2年	高橋 勇太
16-A095	独居高齢者へのアドバンスケアプランニングのプロセスと具体的支援—訪問看護師が高齢者へ意向確認するタイミングの分析を通して	その他	准教授	鶴若 麻理
16-A089	精神疾患をもつ人々が社会の一員として生活することとその実現に関連する要因:精神疾患をもつ人々の捉える社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)	公衆衛生看護学	博士後期課程2年	遠藤 直子

3. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	16-A067	日本独自の香りを用いた芳香浴による成人女性のストレス緩和の効果—ユズ、サクラを用いた実験研究—	看護技術学	准教授	大久保暢子
変更申請	16-A068	サクラセルエキスエストラクトを用いた芳香浴によるストレス緩和効果の検討	看護技術学	准教授	大久保暢子
変更申請	16-A082	乳幼児を育てる就労女性への産業看護職の支援	公衆衛生看護学	修士課程2年	大藪菜穂子

終了報告	11-080	雪国で暮らす高齢がん患者の療養生活	(他施設)	博士後期課程3年	酒井 禎子
終了報告	15-003	新人訪問看護師の「何とか訪問看護を続けていけそう」という思いの構造と関連要因―病棟勤務経験のある新人訪問看護師へのインタビューを通して―	公衆衛生看護学	博士後期課程3年	竹森 志穂
終了報告	15-010	乳幼児を育てる母親が、地域の人々との交流を意図した地域活動に参加することで得られるもの	公衆衛生看護学	博士後期課程2年	川崎 千恵
終了報告	15-A066	保健師基礎教育における放射線防護に関する学生の学びと教育効果の検討	公衆衛生看護学	助教	永井 智子
終了報告	16-A001	がんが進行していくなかにある患者の経験 ―「存在すること」の希望―	基礎看護学	博士後期課程3年	川端 愛
終了報告	16-A020	病棟勤務経験のある新人訪問看護師の「訪問看護と職場への適応」と関連する要因および継続意欲との関連	公衆衛生看護学	博士後期課程3年	竹森 志穂
終了報告	16-A036	全身麻酔下に手術を受ける経口挿管患者における口腔内細菌数と口臭の観察研究	周麻酔期看護学	修士課程2年	橋本奈央子
終了報告	16-A051	院内統一鎮静ガイドライン導入が鎮静下消化管内視鏡検査に及ぼした影響	周麻酔期看護学	修士課程2年	高橋めぐみ

4. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 新医学系指針についての連絡があった。

5. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2017年4月18日 18:00～ (1階 大会議室)にて開催。